

2004 年 4 月 1 日発行  
発行人：堺 充廣  
発行所：神戸市中央区海岸通 8  
神港ビルヂング 5 階 509  
TEL/FAX：078-393-0050  
(TEL・FAX とも同じ番号です。)  
E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
URL：<http://www.kobekeio.org/>  
編集：堀 友子・八巻 啓郎

## ～ 3 月例会報告 ～

野田 敬二 (昭 58 経)

(平成 16 年 3 月 26 日 「東天閣」にて)

ラグビーファンの皆様、お待たせしました。  
スティーラーズのフランカーとしてご活躍の

野澤武史氏 (平成 14 年卒) の登場です。



野澤氏は、2 年前に神戸製鋼所に入社後、スティーラーズとプロ契約を締結され、今季の

トップリーグでは見事、優勝されました。野澤氏によりますと、ラグビーとは「闘争」そのものであり、フランカーの役割は 100 メートル×67 メートルの芝の上のうち、一畳分の畳の上を死守することにあると言われました。

また、大学ラグビーとトップリーグの実力の差は、「ネコとライオン」にまで広がっているとのこと。大学ラグビーでは、限られた 4 年という時間の中で結果を出すことが求められているため、頭で理解した上でのスマートな練習をこなせる選手が実力を発揮する傾向にある。一方、トップリーグでは畳一畳分を死守すべく、愚直なまでの「ひたむきさ」が練習に求められているとのこと。

野澤氏のプレースタイルについて、私見を述べさせていただきますと、フランカー野澤氏が、一度ボ

ールを持つと、味方選手 14 人は、「どこかを破壊するだろう」との確信の下に新たな動きに出ます。敵方にとっては「味方のどこかの防御線が突破されるのではないか？」と浮足立ちます。そしてスタンドの観客もこれはビッグチャンスに結びつくのではないかと大歓声を送ります。したがって、野澤氏がボールを持った瞬間、競技場全体の気温が一気に 10 ぐらい上昇したような雰囲気包まれるのです。

上記の私見について理解が困難な方、どうか競技場に実際に足を運んで、フランカー野澤氏を観戦して下さい。テレビやスポーツ新聞では、伝わらないフランカー野澤氏の闘志がきっと伝わってくると思います。

最後になりましたが、東京からわざわざ駆け付けていただいた松永敏宏氏 (昭和 60 年・商学部卒) をはじめ、慶應ラグビー部 OB の方々には、深く感謝したいと思います。有意義な企画ありがとうございました。



『関西勤務四十年』（三）

堀切 民喜（昭二十九経）

関西財界訪中団

昭和四十二年春、山本さん（住友信託銀行副社長）が体調不良のため同友会代表幹事の職を一年で辞任したためスタッフの仕事は直ぐに解放され、そのまま大阪勤務となった。ところが本店営業部や審査部で現業の仕事の喜びに浸っていた昭和四十六年春、元氣になつた山本さん（当時社長）が再び関西経済同友会代表幹事に就任したのに伴いスタッフとしてもう一度秘書室に呼び戻された。

とができた。ここで恒例の記念写真の端っこに顔を出し、日本の軍国主義復活やアメリカの帝国主義を懸念する同首相の力強く、若々しい声を直接聴くことができたのはいい思い出となった。

またこの時期に山本さんと代表幹事のコンビを組み、訪中団結成に大きな役割を果たした佐治さん（サントリー社長）の知遇を得たことも幸運だった。

東京に戻るチャンス

二度目のおつとめはなかなか楽しかった。この年、関西経済同友会が音頭をとり、九月に戦後はじめて関西財界の総意による訪中ミッション（団長佐伯勇大阪商工会議所会頭）が実現した。私は「日中関係資料」の作成などの事前準備に精を出し、秘書団の一人として訪中団に参加して団長挨拶などの原稿づくりを手伝った。九月二十三日の深夜、北京の人民大会堂で行われた周恩来首相との会談にも陪席するこ

中国訪問の翌年、総合企画部次長に就任したとき、住友信託銀行では大阪に集中していた本部機構のかなりの部分を東京に移転する計画が持ち上がり、私はこれを推進する責任者になった。立案した計画そのものは無事常務会で承認され、大阪本店のかなりの人員が東京に転勤となったが、皮肉なことに私は数少ない大阪残留組となった。

しかし、残留したためにその後大阪で調査部長を二年、本店営業一部長を三年それぞれ経験し、その中で社外に多くの親しい友人をつくることができたとい

える。東京に家を構えるチャンスは昭和五十六年六月、東京、大阪両方を管轄する事業調査部長に就任したときにもあった。私はためらうことなく都内世田谷区の社宅に転居し、それまで東京に残してきた母と同居した。そしてその翌年には大田区沼部の父親譲りの土地に家を新築した。母は八十歳で他界したが、おかげでこの家から送ることができた。

関西経済同友会

しかし昭和六十年六月、専務就任と同時に大阪駐在となり、東京生活はわずか四年間で終わった。とりあえず神戸市東灘区の社宅に入った後、東京の家を売り払い近隣に自宅を建てた。

昭和六十二年に関西経済同友会の都市問題委員会の委員長に就任し、翌六三年に「都市の魅力を探る」をテーマにヨーロッパに十日間の視察旅行を行った。ここで建築家の安藤忠雄さんに親しく指導を受けた。翌年、代表幹事に就任し、ここからは公私ともに関西一辺倒の生活が始まるのである。

（続く）

# 会員だより

## 雑感 2 題

上島 康男(昭 33 法)

茨木 CC から「古稀を迎えて」と題して一文をとの依頼があり、70 才になったと云うそれなりの感慨を込め、これからも体をいたわり乍らゴルフを続けたいと書きましたが、その冒頭で古稀は数え年か満年齢かの私見を述べました。とろが世の中同じ疑問を持たれている方もおられたようで、2 月 23 日付の産経新聞で解説されていました。要はどちらでもよいと云うことです。

しかし言葉は本当に面白いもので、今度は芦屋 CC から「グランド・シニアになりました」と題して寄稿の依頼がありました。そこで 1958 年入会以来、45 年に及ぶクラブライフやゴルフの思い出を書き、そしてこれからも頑張るぞとの前向きな気持ちを含めました。同じ 70 歳を迎えるにしてもそれに向かう自分の姿勢でポジティブにもネガティブにもなることを実感しました。又それを誘導する「言葉の力」の再発見をした次第です。

阪神総合卸商業団地の開設 30 周年記念研修旅行に、共に同団地理事の鍛治川君ご夫妻とご一緒に、1 月にラスベガスとグランドキャニオン他に行って参りました。両所共二度目ですが、流石にグランドキャニオンは大自然の風格を保ち不変の雄姿を見せてくれましたが、ラスベガスは前回訪問した時とは街の様子は大規模なホテル(5500~3000 室)の建設ラッシュで一変しており、懐かしい旧市街が観光客誘致に四苦八苦している様子に時代の流れを感じました。街の人口も 10 年毎に倍増、現在 150 万人と増加し続け、観光客も年間 3500 万人と隆盛を極めていますが、客室の改装などホテルの設備も高級化が求められ、宿泊料金も高くないと投資に見合わなくなりつつあり、倒産ホテルもあり、正に優勝劣負の世界の様相を示していました。私は以前から日本で提唱されているカジノ構想はやや安易過ぎないかとの感じを持っていましたが、本場の様子を見てあらためてその感を強めました。鍛治川君とはスタリオン CC でゴルフも楽しんできました。

ロスでは入国のチェックが厳しくて、2 時間の乗り継ぎでは間に合わず飛行機に乗り遅れ、結局 6

時間かけてロスからラスベガス迄バスで移動を余儀なくされるなどハプニングがあり、あらためて世界情勢の厳しさを実感してきた此の度の旅行でした。

## 遠方からの便り

藤井 文明(昭 36 工)

昨年 6 月末に会社勤めを卒業したあと、海外旅行などを楽しんだが、仕事がないことはやはり寂しい。

そこで初めての経験である職安へ行って職探しを始めた。愛知県春日井市に優良企業があることを知り応募したところ、合格。早速今年の正月明けから勤務を始めた。いわゆる単身赴任である。始めにもらった名刺には社長室付と、所属部署のみで職格はなし、当然であろう。それから 1 ヶ月経ち「室」はなしでいいと言われ、社長付となった。2 ヶ月経ったら今度は社長代行になってくれと言われ、社長の留守の際には社長として振舞ってくれていいとの立場になった。なぜこんなことが起こったか？中小企業では、人材を教育する機会のないままにしてきたため、大きな会社で訓練を重ねてきた小生のような経歴のものが、全く違う発想を持った男と判断されたのであろう。だらしのない姿形をした部長級を捕まえて社長の前で怒鳴りつけ、今からすぐ散髪屋へ行って髪の毛を切って来いと命令し(実は命令権はないのですが)、服装も今とは言わぬが、週末には洋服屋へ行って新しいものを買って来いと命じて実行させたところ社長が大喜びで、わしの言えないことをよく言ってくれたと感激され、社員の怪我の報告をためらっていた女性管理職にも同様に社長の前で鉄槌をかませたところ、これにも社長は大喜びで、それ以降は正に度を越したとんとん拍子で 3 月には小生のことを社長代行と呼べとってしまったのです。小生が普通に書類をまとめても実に仕事が早いと評価され、今までいい仕事をしてきた男はそれなりの顔付きになっていると社長から社員の前で小生のことを披露されたり、汗顔の至りここ



に極まれりであるが、社長に逆らうことは厳に慎んでいるので、小生への評価がここで定着した。今はわずか入社後3ヶ月であるが、仕事がこんなに面白いと感じた事がないほど毎日が充実しているところです。

## 旅行記特集

### 南イタリア旅行記

井上 光(昭35 法)

2月29日関空からシチリア、カプリ島中心の南イタリア12日間の旅に出発した。

ミラノ経由で最初の目的地シチリア島の中心都市パレルモに到着、古代から幾多の民族が植民地支配を重ね、幾つもの文化が残るシチリア島はマフィアの発祥の地でもあるがその背景には経済的な貧しさと人一倍の郷土意識、連帯感があるとのことであった。

島の南側の街、アグリジェンドにある「神殿の谷」の、ヘラ神殿、城壁跡、コンコルディア神殿、ヘラクレス神殿、ゼウス神殿等 BC5 世紀ごろの遺跡を見ていると、古代ギリシャ人の栄華が偲ばれ圧倒される。

タオルミーナはイタリアを代表する保養地で遠くに雪を戴いたエトナ山の勇姿を望みイオニア海に面した切り立った崖の街であった。メインストリートをリゾート気分でのんびりと散策し、Torroncino で名物のアーモンドとホワイトチョコレートをミックスした自家製のお菓子を買求め、絵画同好会へのおみやげとする。

アルペロベッコは、世界遺産の一つ、とんがり屋根のトウルッリの並ぶ街。早朝に一人で散歩していると白い子犬がどこまでもついてくる。聞くと我々が宿泊したホテルのガード犬で、市内観光の時など自動車がグループに近づきすぎると、車に向かって吠えてガードしながら先導してくれ、観光を終えホテルに帰ると先に戻っていて玄関で出迎えてくれるというサービスぶりにはまいった、まいった。

ポンペイは2000年以上前に栄え AD79年のベスピオ火山の噴火によって火山灰の下に埋もれてし

まった街。公衆浴場、肉魚の市場跡、パン屋、墓地等があり、当時の荷車が行き来した石畳には車輪の轍がはっきりと残っていた。また売春宿の看板として男性そのものズバリの石の彫刻が残されていたのにはいささか驚いた。

料理は、前菜の味は少し辛めで、メインディッシュは薄味。前菜が辛いのはワインを美味しく飲むためとのこと。団体旅行の定食だけでは物足りないので、ローマの最終日に仲良し6人組で、盛装して、高級レストラン、アンドレアへ行くことにした。各種料理を6種類ずつ注文し、夫々を6分の1ずつ分け合ったが、どれもこれもさすがに味はすばらしく、酒もはずみ、ワイワイ言いながら夜更けまで料理を堪能、店の経営者がサッカーの中田選手が来店した時に一緒に撮った写真をプレゼントしてくれるおまけまでついた思い出深い晩餐となった。

古代ギリシャの生んだ哲学、科学、美術がヨーロッパ文化の重要な源泉の一つとして、人類の歴史に深い影響を与えていることを実感しながら帰国したが、今回の旅行は食の細い人と同行したために、勿体無い病が再発し、3kg増量の旅でもあった。



【アンドレア 宴のあと、満ち足りて】

## ちょっと一言

森本 富夫(昭36 法)

株丹波野菜工房を友人と設立、ベビーリーフの栽培を始めました。農業構造改革の一環として農業分野に進出するのは初めてのことなので注目されています。

井上 祥会員より

横尾 嘉昭 (平 10 経)

## イーゼル会

### 今月の絵



(イーゼル会 : 天木 明)

## 乗馬同好会

### 残念！流れました・・・

先月号で、「お待ちかね “体験乗馬会 & お花見” 開催決定！ご家族でお楽しみください。」とお知らせしたにもかかわらず、どなたからも参加の希望が無く、流会となってしまいました。

秋頃にもう一度企画しますので、今度こそ多くの会員の体験乗馬を期待しています。

世話人：三木則夫(明石乗馬協会 078-935-8900)  
三瀬祥夫

現在活動中の同好会は、次の通りです

- イーゼル会 世話人：八巻 晤郎(昭 40 経)
- KKJC 世話人：近藤 正 (昭 39 商)
- PC同好会 世話人：市川 義人(昭 57 経)
- 囲碁同好会 世話人：林 邦一 (昭 41 経)
- ゴルフ同好会 世話人：近藤 正 (昭 39 商)
- 乗馬同好会 世話人：三瀬 祥夫(昭 40 商)
- テニス同好会 世話人：茂木立 仁(平 1 法)

皆さまのご入会をお待ちしています。

詳細については事務局までお問い合わせください。

### 初めまして

昨年末の例会から参加させて頂いております。塾卒業後、日本アジア投資(株)に入社し、東京で2年半勤務した後、3年前に大阪に参りました。

東京では身近な所に友人が多かった為、中々新しいことを始めるきっかけがありませんでしたが、ふと大阪に来ることでダイビングを始めることができました。

最初は学生に混じって講習を受けるのが恥ずかしいと思っていましたが、40歳以上の方でも初めてライセンスを取られる方が多く、意外にも自分が最年少で驚きました。経験が浅いにもかかわらず、大物が見れることで有名なメキシコのラパスとロスガボスの海に潜りに行きました。ダイビングに慣れていない上に、外人だけの集団と一緒に英語で打合せをして潜るのは、自分でも少々無謀かと思いましたが、無事に帰ることができました。残念ながら大本命のハンマーヘッド(金槌のような頭をしたサメ)を見ることはできませんでしたが、ラパス名物の野生のアシカ(シーライオン)の子供と一緒に遊ぶことができました。アシカ



とは、シュノケーリングの方でも十分楽しむことができます。コルテス海はプランクトンが豊富なことで有名で、どの魚も日本のよりも1.5倍~2倍

以上大きかったです。どちらの海もスポーツフィッシングが盛んで、潜った感想としては、初心者でも大物が釣れるにちがいありません。

バハカルフォニア(メキシコの西岸)は、昼はマリンスポーツ、夜は皆様のご想像どおり到る所で老若男女が音楽にのってテキーラを一気飲みしている楽しい町です。治安も良く、気分転換には最高の場所なので、皆様も一度行かれてみては如何でしょうか。私は、今度はダイビングクルーズ船に乗って、大物達がいる海を満喫したいと思います。

## ~~4月例会のご案内~~

日時：4月21日(水) 18:30より

会場：倶楽部ルーム

講師：樫尾 観蔵会員（昭38法）

テーマは「老人福祉問題」について

会費：1000円

## 新入会員紹介

## ~~今後の行事予定~~

2004年度総会 5月21日(金)18:30~

場所：蘇州園（詳細未定）

詳細につきましては、決まり次第BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご覧ください。

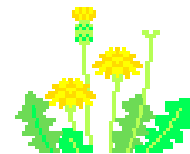
2004年度の年間行事予定につきましては、総会の議決承認後にお知らせいたします。

## ~~事務局よりお願い~~

4月は会費振込み月です。早目の振込みお願いいたします。

自動振替の会員様は4月27日(火)に会費の引き落としがありますので、口座および残高の確認をお願い致します。

住所・電話番号・メールアドレスの変更は、事務局にお知らせください。



4月29日(祝)~5月9日(日)のゴールデンウィーク期間中は、倶楽部ルームは閉室させていただきます。

なお緊急連絡が必要な場合は、**堺 充廣・大澤 弘一・徳丸 公義**の各幹事が対応いたします。

(電話番号は名簿で確認ください。)

ご迷惑をおかけしますが、よろしく申し上げます。

皆さまどしどし原稿をお寄せください。  
一言コメントなどのメモ書きも大歓迎です。  
皆さんの投稿をお待ちしています。  
「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。  
**堀 友子**  
**八巻 晤郎**

### 編集後記

○やっぱり春はいい。気候と共に気分も新たにスタートの季節です。日々新鮮な気持ちを持ちつつけること、夢を決して忘れないこと、そして仲間を大事にする…不変の願いです。(ほ)

○日本ラグビー界は制度、組織上で移行期にあり、現在は同一チームにプロとアマが混在してゲームを行っている状態です。ラグビー有名人では既に全部プロ化されており、野澤氏が羽ばたけるのは日本に限られているわけではありません。でも次のワールドカップ、二〇〇七年のフランスでは、ジャパンの野澤として日の丸を背負ってプレーしてくれると思います。

がんばれ！野澤！

(晤)